

所見

一昨年から一新された、視覚的に明快で簡潔で明瞭な分かりやすい「実施報告と点検評価」になっています。

特に成果と課題に関してはその対応を混在させずに分けたこと、課題を今後への具体的な取り組みと連動させたことが評価できます。「目指すべき姿」としての表記はより包括的、全体的なものであるのに対し、点検して課題に対応するには「どのように」という具体的な対応と記述が求められます。その点が明確に改善され適切になりました。

もともと、施策によっては数値目標を設定しにくいものがあるのも事実で、その点に関しては数値のための点検ではないことに留意し、前年比で改善があったものは比較で示す、などがあっても然るべきことでしょう。特に星の数で示した評価区分で「事業の実施効果は高い☆☆☆☆」とされた項目などは、維持をすることも目標になります。従って何が功を奏して高い評価になったのかを成果として明確に記載し、それをエビデンスとして継続する課題にすることも必要でしょう。

また、表現の問題でもありますが、「効果的に行う」などとするのは曖昧で、どの点において、何をどのように効果を上げるのかを目指すのかが示されません。計画値は数値で示しにくいものがあることは承知の上で、それでも根拠とエビデンスの明記は必要です。

教育の成果は市民にとって大きな関心であり、積極的な市民への発信とアピールも欠かすことができませんが、この点においても委員会の取り組みは種々の配布物などを通して実践されており、分かりやすく有意義です。

これまでも誠実に着実に迅速に改善の取り組みを継続されてきた伊丹市教育委員会の皆様の仕事を応援しつつ、さらなる努力を期待しています。